

日本保全学会 第22回 保全セミナー

2023. 2. 24 (Fri.)

<会場>

東京大学 武田先端知ビル 武田ホール & オンライン(Zoom) 同時開催

<テーマ>

DX(デジタルトランスフォーメーション)を活用して 原子力保全に変革を!

近年、先端テクノロジーが次々に生まれ、AI、IoT、ビッグデータなどのデジタル技術を用いた新たな価値の創出や従来システムからの脱却・変革が急速に進んでいる(DX:デジタルトランスフォーメーション)。Society 5.0が未来社会の姿として第5期科学技術基本計画(平成28～32年度)で初めて提唱されており、現在ではその実現に向けた取り組みが行われている。また、仮想空間としてのメタバースの技術も急速に進展しており、これにより今後大きな社会変革が生み出されることは想像に難くない。

一方、原子力分野では、再稼働審査が遅々として進まず、原子力発電は停滞したままであり、国内の一般産業や海外原子力産業と比較するとDXの活用もあまり進んでいない。社会の変革期において、これらの技術を活用して閉塞感を打破していくことが、基軸電源となるべき原子力が果たすべき役割である。こうした状況を踏まえ、原子力保全の変革を目指して、DXの活用に向けた理解を深めるために、第22回保全セミナーを企画する。

DXとは? DXの活用で原子力保全はどのように変わるのか?

- (1) DXを活用した次世代プラントの建設・運転・保全
- (2) 原子力保全DXに係る我が国が目指すべき方向性
- (3) Society 5.0の実現に向けた原子力デジタル産業基盤構想

井川 玄(千代田化工建設)

出町 和之(東京大学)

河合 理城(三菱総合研究所)

プラントDXの保全技術と活用—スマート保全を目指して—

- (4) 非破壊検査のDX～NDE4.0とセンシングデータの利活用～
- (5) 原子力保全DXに係る海外動向—米国の革新炉開発を中心に—
- (6) DX時代のサイバーセキュリティ
- (7) 浜岡原子力発電所における
タンク内部点検へのドローン導入について
- (8) 各産業のDXの活用状況と原子力プラントへの適用の提言
- (9) 原子力発電所における現場作業管理のデジタル化
- (10) 原子力分野メタバースの提言

中畑 和之(愛媛大学)

越智 仁(日本エヌ・ユー・エス)

淵上 真一(日本電気)

山田 浩二(中部電力)

今野 隆博(日立GEニュークリア・エナジー)

長谷川 学(東芝エネルギーシステムズ)

児玉 典子(日本保全学会)

<申込方法> 日本保全学会ホームページよりお申込みください。
https://www.jsm.or.jp/event_t/15807.html



参加登録締切 **会場参加** ・ **オンライン参加** **2月22日(水)**

※新型コロナウイルスの感染状況によって変更することもあります。

お問い合わせ先: 日本保全学会事務局

〒110-0008 東京都台東区池之端2-7-17 井門池之端ビル7F Tel: 03-5814-5430 Fax: 03-5814-6705

E-Mail: seminar22@jsm.or.jp(保全セミナー事務局)